

第22回名古屋大学理学懇話会

# 素粒子物理の7月革命 ヒッグス粒子発見

入場無料

2013年6月8日(土) ◆開場=13:00 / 開演=13:30 / 終了=16:00  
◆定員=300名

◆開催場所=名古屋大学 理学南館 坂田・平田ホール  
(地下鉄名城線名古屋大学駅2番出口)

「素粒子、物質、宇宙の質量の謎」

久野純治(理学研究科 教授)

「ヒッグス粒子の発見とさらなる新粒子を求めて」

戸本 誠(タウ・レプトン物理研究センター 准教授)

この宇宙のあらゆるものを構成している最小単位は素粒子である。

素粒子には種類があり、その個性をあらわす量として「質量」がある。

なぜいろいろな質量をもつ素粒子が存在するのか。その質量の起源はなにか。

その答えの鍵を握っているのが「ヒッグス粒子」である。

2012年7月、このヒッグス粒子がスイス・ジュネーブのLHC実験で発見された。

この発見は「7月革命」と呼ばれるほど、今、素粒子研究は盛り上がりを見せている。

ヒッグス粒子の不思議な性質と発見までの物語、そして、発見によって拓かれた

素粒子研究の新たな可能性について、最前線で活躍する2人の研究者が読み解いていく。

高校生のための  
サイエンスカフェ in 名大  
【同日開催】16:15-17:30

懇話会終了後、高校生を対象に研究者を囲んで、  
当日の講演や科学についてあれこれおしゃべりする  
サイエンスカフェを開きます。会費は無料。参加  
を希望される方は下記まで電話またはメールにて  
お申し込みください。当日参加も受け付けます。

◆主催=名古屋大学理学部・大学院理学研究科広報委員会 ◆問い合わせ=名古屋大学理学部庶務掛 TEL 052-789-2394 kouhou@sci.nagoya-u.ac.jp

<http://www.sci.nagoya-u.ac.jp/kouhou/>

© 2012 ATLAS Experiment